



■ スポーツは高いレベルになるほど「華」があります。

たゆまぬ努力のもと全力で取り組む姿は感動的であり、創造力あふれる芸術的なプレーには魅了されます。

みんなが高いレベルになれるわけではありませんが、地域や会員は、わが街のクラブを応援することはできます。

憧れの存在に心ときめき、夢を共有し、自分もチャレンジできる、そんな「華」のあるクラブを推進する各地の事例について、地域や生涯スポーツとのつながりをふまえて紹介します。

■ (1) NPO 法人三重花菖蒲スポーツクラブ (三重県)

～選手の「1社1人雇用制」から地域に広がる

女子ハンドボール日本リーグに参戦するチームを抱え、平成14年に設立。会員数はファンを中心に約600人おり、地元企業のバックアップがあるクラブです。

支援は企業1社だけに頼らず、景気後退や企業の都合などの影響を減らすために複数の企業や団体により支えられています。まず市民に愛されるチームであること、そこから生まれる支援体制があつて競技力が向上することを感じ、選手と地域が触れ合う機会を増やしています。ホームタウンでの試合時には、地元チアダンスの少女たちの、発表の場にもなっています。

▼文章全文と写真はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=200>

■ (2) NPO 法人たかはら那須スポーツクラブ (栃木県)

～プロチームと生涯スポーツの間をつなぐ

日本サッカーリーグをめざすトップチームに加え、ジュニアや女性、スクール部門などを充実させ、バドミントン、ボクササイズ、太極拳などの教室があるクラブです。

平成20年、地元「栃木SC」のプロ化に伴い、退団した選手の受け皿にクラブがなりました。つまり、県内でプロチームと生涯スポーツの間をつなぐアマチュアチームの役割を果たしたのです。

プロから離脱してもサッカーができる環境、また生涯スポーツからプロへの道筋があることは、全体の技量を押し上げる力になります。

▼文章全文と写真はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=197>

■ (3) NPO 法人クラブスポーツバイキングぶんすい (新潟県)
～地域の人々で支える部活動と競技力

クラブでは、部活動の外部指導者派遣を教師や保護者の意向を聞いたうえで調整して行っています。複数の種目で全国大会に出るほどの優秀な成績をおさめています。

社会教育としてクラブの保険を適用し、午後7時頃まで練習延長可能なことが部活動活躍の背景にあります。29人乗りのバスの存在は、会員確保や競技力向上に貢献しています。

全国大会時には地域から1週間で100万円の寄付が集まりました。学校を超えた地域の理解や応援は、子どもたちの励みとなり、まさに地域協働型のクラブとなっています。

▼文章全文と写真はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=198>

■ (4) NPO 法人あさまハイランドスポーツクラブ (長野県)
～50歳で世界チャンピオンをめざす

平成7年、屋内カーリング専用リンクを手作りで作り、長野オリンピックとともに長野県ではカーリングが発展しました。一昨シーズンには、総合型クラブの会員である男子チームが日本選手権に優勝し、女子チームも2位になりました。

カーリングの魅力は「ゲーム展開が人生の縮図」に似ているところにあり、ライフワークスポーツの条件にあてはまっています。

カーリングは人生経験を積まないとチャンピオンになれない息の長い競技。トリノオリンピック優勝チームの主将は50歳でした。「50歳で世界チャンピオン」も夢ではありません。

▼文章全文と写真はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=196>

【2】今月のクラブシンボル

「YASUほほえみクラブ」(滋賀県)のクラブ名・ロゴマーク・
キャッチフレーズの誕生!

～“ほほえみが絶えないクラブ”への願いを込めて～



■YASUほほえみクラブは、平成15年に滋賀県旧野洲町で設立されました。設立前に、クラブ名、ロゴマーク、キャッチフレーズを、インターネットや雑誌等で作品の応募を募り、移転オープンを控えていた図書館開館イベントにおいて住民からの投票を経て、上位作品を準備委員の投票で決定しよう、ということになりました。ささやかですが景品も用意しました。

■ところが、作品応募を気軽にできるようにしてしまったためにさあ大変！ 5,500件前後の応募がメール中心にあり、ロゴマークも200件を超える応募がありました。

■投票の結果、クラブ名が「YASUほほえみクラブ」、キャッチフレーズが「世代こえ 汗を！ 笑顔を！ ふれあいを！」、ロゴマークが野洲の頭文字である「Y」の字をスポーツや球技などを楽しむ人々の姿を表現した元気な笑顔で躍動するマークとなりました。

(外田順一 YASUほほえみクラブ 元クラブマネジャー)

▼文章全体とロゴマーク・写真はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=199>

▼NPO法人YASUほほえみクラブHPはこちらから

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~hohoemi-club/>

【3】SCステーションPICKUP

～総合型クラブと「競技力」はつながりますか？～



◆クラブづくりQ&A「SCステーション」から、毎月いくつか選んでご紹介します。アンケートでいただいたご質問の答えにもなっています。

◆「総合型クラブと『競技力』はつながりますか？」

▼8. 競技力向上とクラブ

Q1 「競技力向上」と「楽しみ」を両立させるには？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/107.html>

▼8. 競技力向上とクラブ

Q2 地域や学校でのクラブづくりは競技者育成につながりますか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/47.html>

▼ 8. 競技力向上とクラブ

Q 4 クラブ化によるメリットとは？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/85.html>

▼ 8. 競技力向上とクラブ

Q 5 クラブ方式によるチームの強化と運営は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/131.html>

▼ 9. プログラムとイベント

Q 9 他地域のクラブとの交流をしたいのですが。

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/48.html>

▼ 8. 競技力向上とクラブ

Q 3 子どもの運動神経はどう発達しますか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/3.html>

▼ 3. 人材と育成

Q13 資格をもつ指導能力の高い指導者をお願いするには？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/199.html>

★SCステーションのTOP ページはこちらから

キーワードで自由に検索できます！

<http://www.japan-sports.or.jp/local/index.asp>

【4】メールマガジン次号（通算41号）の予告



■<特集>会員数が多いクラブの会費設定

会費をいくらにしたらいいか、設立前後の悩みの一つです。
総合型クラブの会費は、住民が活動や交流を楽しむことに加えて、地域全体を豊かにする公益的な組織に必要なものとして考え集めたいものです。

会員を集めたいために会費を安くし過ぎて、後で後悔するクラブは少なくありません。

会費が安いから人が集まるのでしょうか？

では、会員数が多いクラブはどのような会費設定をしているのでしょうか？ タイプ別にみていきたいと思います。

<連載>私のクラブライフ自慢（隔月）

MIYAZAKI うづら ai クラブ（宮崎県）の会員インタビュー集

<連載>今月のクラブシンボル

かんベスポーツクラブ（三重県）のログハウス など

■発行予定日；3月23日（月）

★お知らせ★

◇各種情報を掲載したい場合は、お気軽に以下までメールを送信してください（概要、日時、場所、連絡先、返信期限など明記）。

sc-info@japan-sports.or.jp

●総合型地域スポーツクラブ全国協議会（SC 全国ネットワーク）が設立しました！

2月6日（金）、本会地下3階講堂において、
総合型地域スポーツクラブ全国協議会（SC 全国ネットワーク）
設立総会を開催しました。

今後は、都道府県総合型クラブ連絡協議会の設立を促進し、
クラブ間の情報交換・交流や広報活動を通じて、
総合型クラブ間のネットワークを構築していきます。

▼設立総会の模様はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=201>

●第2回ブロック別クラブミーティング 2008 開催報告

全国9ブロックでクラブミーティングを開催いたしました。
活発な情報交換や話し合いの内容をご報告します。
様々な取り組みや工夫を知ることができます。ぜひご覧ください！

▼開催報告はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/local/event/cb_m.html

●平成20年度地域ネットワーク全国会議開催のご案内

標記会議が、国立スポーツ科学センター（JISS）の主催により開催されます。
JISSがこれまで構築されてきた連携・ネットワークを最大限に活用し、
国際競技力向上に関わる多分野を横断する多くの情報を集約的に提供されます。
本会も分科会を担当し、9つのテーマにより情報提供いたします。
国際競技力向上のみならず、総合型クラブ関連の情報やスポーツによる地域
活性化等の情報もございますので、興味がある方は、ぜひご参加ください。

主 催 国立スポーツ科学センター

退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright(c) 2009 Japan Sports Association. All rights reserved